

—より強く、よりしなやかに—
ファイン・ヒート・テクノロジー

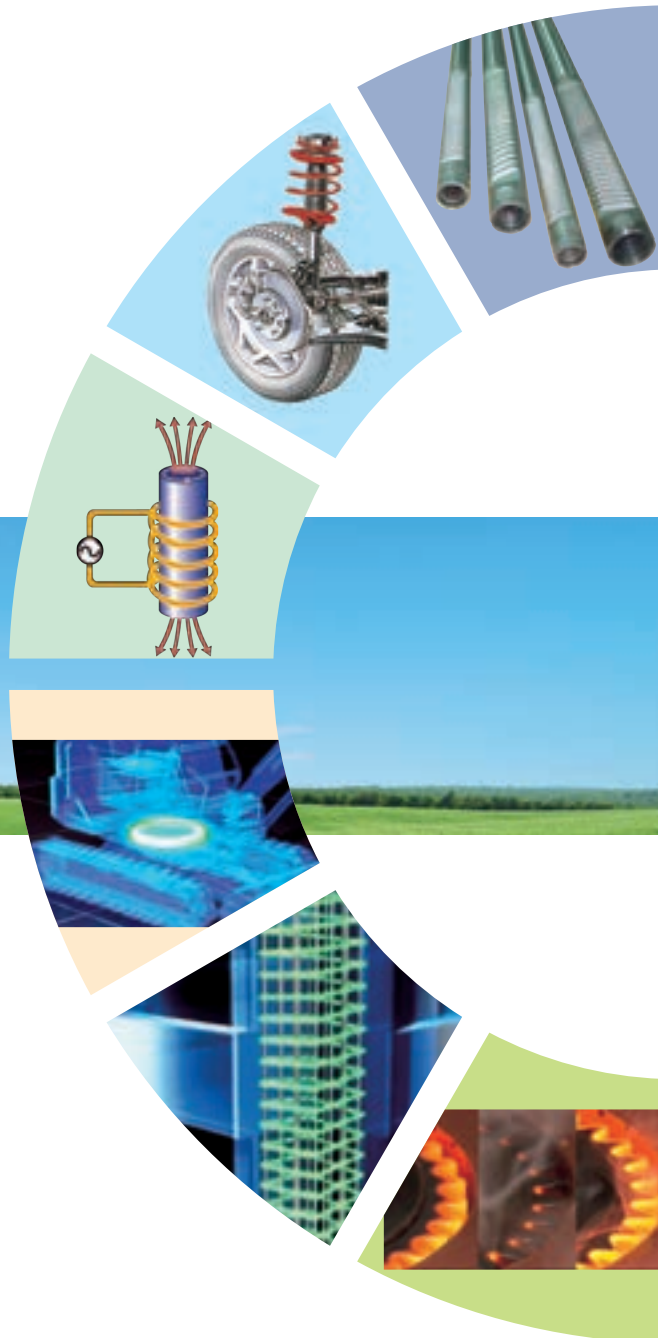
 **ネツレン**
NETUREN 高周波熱錬株式会社

NETUREN REPORT

第108期 中間ネツレンレポート

2018年4月1日から2018年9月30日まで

証券コード 5976



株主の皆様へ

MESSAGE FROM THE MANAGEMENT

株主の皆様には、格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社の第108期中間ネツレンレポートをお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。



代表取締役社長

溝口 茂

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全体的には緩やかな回復基調で推移いたしました。また、世界経済は、米中貿易摩擦などの不安要因はあるものの、米国や欧州においては比較的堅調に推移し、中国においては建機需要に繋がるインフラ投資や、工作機械および産業機械の設備投資に繋がるロボット・通信関連需要が拡大しました。

このような状況のもと、当社グループは、第14次中期経営計画「Accomplish V-20」(2018年4月より2021年3月までの3ヵ年計画)に掲げた基本方針である「新技術・新商品・新規事業の迅速な開発と市場投入」、「現在と将来を担うグローバル人財の確保と育成」、「安全・品質・CSR活動のグローバル体制の構築」を推進し、企業価値の向上を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、26,080百万円(前年同期比12.6%増)、営業利益は、1,894百万円(前年同期比14.8%増)、経常利益は、2,268百万円(前年同期比18.4%増)、前年同期と比較して特別利益が少額であったことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,377百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における中間配当につきましては、基本方針に基づき、1株につき金12円とさせていただきます。

今後のわが国経済は、景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、国内外の景気動向は今後も予断を許さない状況であり、かつ、当社グループを取り巻く経営環境の不透明感は払拭されておりません。

このような状況の中、第14次中期経営計画「Accomplish V-20」に基づき、引き続き海外事業を含む慎重かつ積極的な事業展開を実施するとともに、原価低減に努め、収益力の向上を図ることにより、事業基盤の強化・企業価値の向上に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく申し上げます。

2018年12月

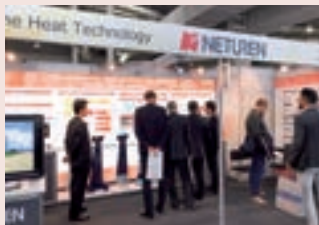
NETUREN FLASH

「EuroBLECH 2018／国際板金加工技術見本市」への出展

2018年10月、当社は、Hanover Messe（ドイツ連邦共和国ニーダーザクセン州）において開催された展示会「EuroBLECH 2018／国際板金加工技術見本市」に出展いたしました。

展示会では、ブースでの製品の展示を通して、当社の最新技術である直接通電加熱（DH）による矩形および非矩形の薄鋼板への加熱技術の特長をPRいたしました。

当日は多数の方が来場され、当社の商品や技術について、高い関心をお寄せいただきました。



展示ブース風景

DH: Direct Resistance Heating

「Spring World 2018」への出展

2018年10月、当社は、Donald E. Stephens Convention Center（アメリカ合衆国イリノイ州）において開催された展示会「Spring World 2018」に出展いたしました。

展示会では、当社の基幹技術であるIH（誘導加熱）を応用した製品であるITW®の優位性について、パネルや製品見本の展示、プレゼンテーションを通してPRいたしました。

当日は、多数の方が来場され、当社の商品や技術について活発な質疑応答が行われました。



展示ブース風景

「工場見学会」の開催

2018年8月、湘南事業所（神奈川県平塚市）において、熱処理技術への理解促進を目的として、一般社団法人 日本熱処理技術協会主催の若手・中堅技術者向け工場見学会が開催されました。

当日は、当社の基幹技術であるIH（誘導加熱）を用いた誘導加熱設備や軸肥大加工技術等を中心にご見学いただき、工場見学会後には活発な質疑応答が行われました。



工場見学会風景

「ネットレンCSRレポート2018」の発行

2018年11月、当社は、持続可能な社会の実現に向けたCSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の取り組みについて、すべてのステークホルダーの皆様にお伝えするとともに、活動のさらなる向上を目的に「ネットレンCSRレポート2018」を発行しました。

今回の「ネットレンCSRレポート2018」では、第14次中期経営計画「Accomplish V-20」を軸に、NETUREN VISION 2020達成のための3つの柱について焦点を当てて報告しています。詳しくは、当社HPをご覧ください。



「ネットレンCSRレポート2018」

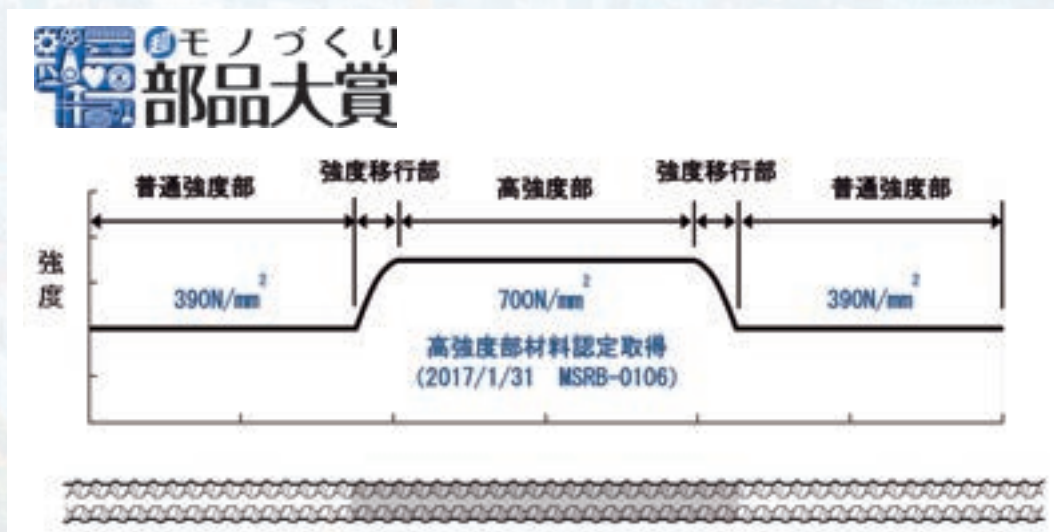
TECHNO FRONTIER

ダブルスターク®が超モノづくり部品大賞の「生活関連部品賞」を受賞

このたび当社の新商品であるダブルスタークが、モノづくり日本会議と日刊工業新聞社が主催する「超モノづくり部品大賞」の「生活関連部品賞」を受賞しました。「超モノづくり部品大賞」は、2003年に「モノづくり部品大賞」として創設され、2018年で15回目となる顕彰制度です。対象分野は「機械・ロボット」「電気・電子」「モビリティ関連」「環境・資源・エネルギー関連」「健康福祉・バイオ・医療機器」「生活関連」の6つであり、今回は、「生活関連部品賞」として評価いただきました。

このダブルスタークは、ネツレンのコア技術であるIH（誘導加熱）における部分加熱を活用した製品です。本製品をマンションなどの鉄筋コンクリート造の柱と梁の接合部に使用することにより、従来より鉄筋量を減らしつつ同じ部材の性能を発揮する当社の材料技術を高く評価いただき、受賞となりました。

現在、ダブルスタークは高層免震建物に採用され、製造・出荷が始まっています。また、新たにいくつかの物件への適用が予定されています。ダブルスタークは、進化中であり、今年度も適用範囲の拡大に向けて構造性能確認実験を継続しております。加えて広く適用されるためには、設計法の一般化が不可欠であり、ダブルスタークを用いた工法の設計施工指針の確立を目指して推進しています。



NETUREN NETWORK

ビジネスフィールドを創造し、さらなる飛躍を目指します。

ネツレン国内事業所一覧

- ① いわき工場
- ② 茨城工場
- ③ 本社
- ④ 湘南事業所・平塚工場
- ⑤ 可児工場・可児NH工場
- ⑥ 刈谷工場
- ⑦ 尼崎工場
- ⑧ 神戸工場
- ⑨ 赤穂工場
- ⑩ 岡山工場



● 国内・海外グループ会社

Group Information

九州高周波熱練株式会社

会社概要

- ①所在地 福岡県北九州市若松区北湊町12-25
- ②事業内容 金属部品の熱処理受託加工
- ③資本金 36百万円
- ④代表者 代表取締役 渡邊 貢
- ⑤従業員数 27名
- ⑥出資比率 当社100%

九州高周波熱練株式会社は、九州地区での高周波熱処理技術の導入を目的として、1951年6月に設立いたしました。

同社は、高周波熱処理事業の他、一般熱処理、肉盛溶接、一般機械部品の製作、コンクリート2次製品製造機械の設計・製作およびメンテナンスを主な事業としており、当社グループにおける九州地区での事業戦略の重要な拠点として、さらなる発展を期待しております。

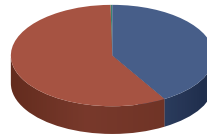


会社外観写真

セグメント別営業の概況

セグメント別売上高構成比

製品事業部関連事業	41.5%	10,827百万円
IH事業部関連事業	58.2%	15,187百万円
その他	0.3%	65百万円



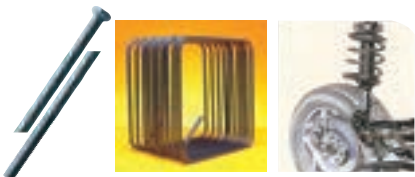
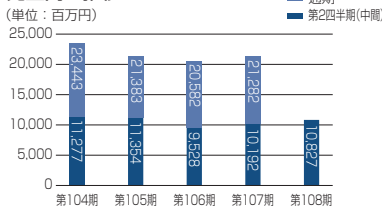
製品事業部関連事業

建築関連製品の売上高は、当社の製品が採用された大型プロジェクトが好調に推移したことから、前年同期と比較し増加したものの、土木関連製品の売上高は、主要顧客が販売する市場が伸びなかったこと、更に、関連部材の製造開始遅延等に伴う着工遅れなどにより、前年同期と比較し減少いたしました。一方、高強度ばね鋼線（ITW®）の売上高は、国内では伸びなかったものの、海外での販売が堅調に推移したことにより、前年同期と比較し増加いたしました。

この結果、売上高は、10,827百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は、772百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、新商品であるダブルスターク®の製造販売を開始しております。

売上高の推移



PC鋼棒 高強度せん断補強筋 サスペンション用ばねの使用例

PC鋼棒関連製品

高周波熱処理を応用したプレストレストコンクリート用部材である高強度、高品質のPC鋼棒および関連製品の製造・販売を行っております。

ばね鋼線関連製品

高周波熱処理された冷間成形用の高強度ばね鋼線（ITW®）の製造・販売を行っております。

IH事業部関連事業

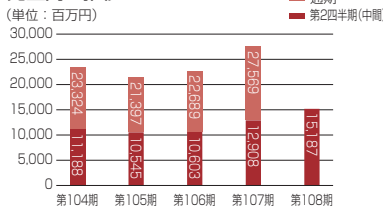
熱処理受託加工関連の売上高は、自動車向けや工作機械向けの受注が堅調に推移したことおよび新規事業であるマイルド浸炭事業を順調に進捗させることができたことなどにより、前年同期と比較し増加いたしました。また、自動車部品関連の売上高は、前年同期並みの売上を確保できました。

建設機械部品関連の売上高は、国内や中国での販売が伸びたことにより前年同期と比較し増加いたしました。

誘導加熱装置関連の売上高は、国内や韓国での販売が伸びたことにより前年同期と比較し増加いたしました。

この結果、売上高は、15,187百万円（前年同期比17.7%増）、営業利益は、1,093百万円（前年同期比26.1%増）となりました。

売上高の推移



旋回輪の高周波焼入れ コンパクトCVJ焼入れ機

熱処理受託加工関連

高周波熱処理を中心にあらゆる機械部品の熱処理受託加工を行っております。

自動車部品関連・建設機械部品関連

中空ラックバー、EPS用ウォームホイール等の自動車部品および建設機械用旋回輪の製造・販売を行っております。

誘導加熱装置関連

誘導加熱・熱処理装置、周波数変換装置等の設計・製作・販売・エンジニアリングを行っております。

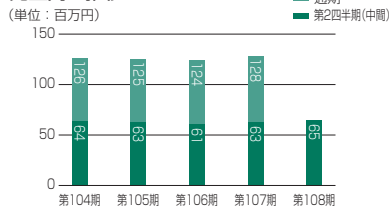
その他

当該セグメントは、報告セグメントに含まれない不動産賃貸事業等であります。

当社保有の賃貸物件については、小規模ではありますが安定的に業績に寄与しております。

この結果、売上高は、65百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は、29百万円（前年同期比0.0%増）となりました。

売上高の推移



オーバルコート大崎マークウエスト

賃貸事業

「オーバルコート大崎マークウエスト」に当社が所有するフロアおよび当社が行う事業に関連する設備等の賃貸事業であります。

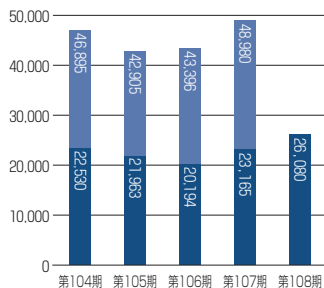
その他

上記以外の事業であります。

連結財務ハイライト

売上高

(単位：百万円)

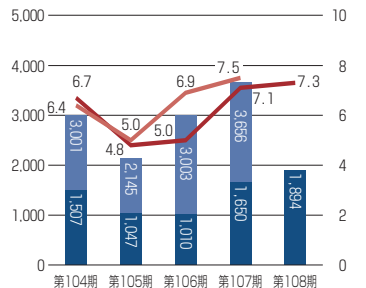


通期
第2四半期(中間)

営業利益／営業利益率

(単位：百万円)

(単位：%)

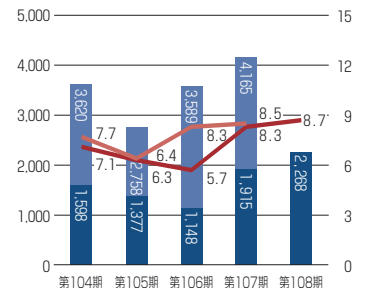


通期
第2四半期(中間)

経常利益／経常利益率

(単位：百万円)

(単位：%)

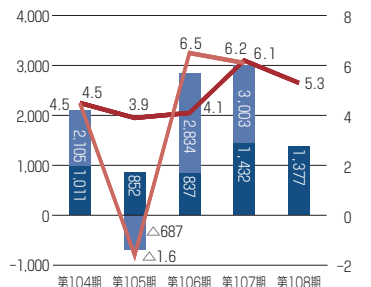


通期
第2四半期(中間)

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益／親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益率

(単位：百万円)

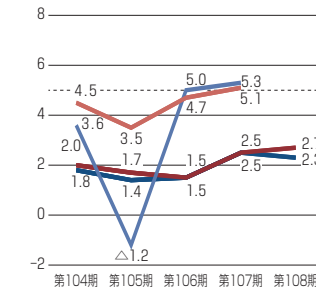
(単位：%)



通期
第2四半期(中間)

ROE／ROA

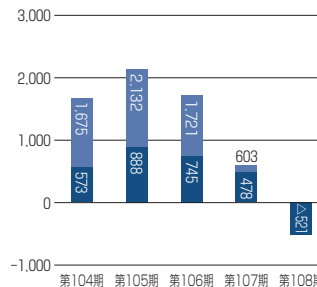
(単位：%)



通期
第2四半期(中間)

フリーキャッシュ・フロー

(単位：百万円)



通期
第2四半期(中間)

●財務の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、83,564百万円（前連結会計年度末比1.8%増）となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金や有形固定資産が増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、17,203百万円（前連結会計年度末比7.6%増）となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が減少したものの、長期借入金が増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、66,361百万円（前連結会計年度末比0.4%増）となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定が減少したものの、利益剰余金が増加したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は71.8%となりました。

財務諸表の概況（連結）

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	前連結会計年度 2018年3月31日現在	当第2四半期連結会計期間 2018年9月30日現在	科 目	前連結会計年度 2018年3月31日現在	当第2四半期連結会計期間 2018年9月30日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	36,404	36,858	流動負債	13,597	13,148
現金及び預金	14,110	14,946	支払手形及び買掛金	3,046	2,702
受取手形及び売掛金	12,293	10,859	電子記録債務	5,083	5,078
電子記録債権	3,907	4,567	短期借入金	1,478	1,395
商品及び製品	940	1,029	未払法人税等	672	656
仕掛品	1,820	1,645	賞与引当金	619	661
原材料及び貯蔵品	1,844	2,031	その他	2,696	2,654
その他	1,516	1,804	固定負債	2,392	4,054
貸倒引当金	△29	△25	長期借入金	785	2,424
固定資産	45,706	46,705	退職給付に係る負債	899	894
有形固定資産	30,980	32,101	その他	707	735
建物及び構築物	8,567	8,660	負債合計	15,989	17,203
機械装置及び運搬具	10,224	11,181	純資産の部		
土地	9,933	9,912	株主資本	57,236	58,129
建設仮勘定	1,948	1,999	資本金	6,418	6,418
その他	305	347	資本剰余金	4,758	4,724
無形固定資産	2,179	1,977	利益剰余金	48,521	49,448
借地権	744	701	自己株式	△2,461	△2,462
のれん	1,282	1,128	その他の包括利益累計額	2,568	1,908
その他	152	147	その他有価証券評価差額金	1,541	1,715
投資その他の資産	12,546	12,626	為替換算調整勘定	1,093	229
投資有価証券	11,825	11,950	退職給付に係る調整累計額	△66	△36
長期貸付金	39	38	非支配株主持分	6,315	6,323
退職給付に係る資産	103	86	純資産合計	66,120	66,361
その他	659	632	負債純資産合計	82,110	83,564
貸倒引当金	△81	△81			
資産合計	82,110	83,564			

(注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
 2. 「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を選んで適用した後の数値となっております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 2017年4月1日から2017年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2018年4月1日から2018年9月30日まで
売上高	23,165	26,080
売上原価	17,851	20,268
売上総利益	5,313	5,811
販売費及び一般管理費	3,663	3,916
営業利益	1,650	1,894
営業外収益	287	400
営業外費用	22	26
経常利益	1,915	2,268
特別利益	1,480	4
特別損失	1,137	20
税金等調整前四半期純利益	2,258	2,252
法人税等	609	606
四半期純利益	1,649	1,646
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,432	1,377
非支配株主に帰属する四半期純利益	216	268

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 2017年4月1日から2017年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2018年4月1日から2018年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,574	3,160
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,096	△3,682
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,618	907
現金及び現金同等物に係る換算差額	119	△123
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,021	261
現金及び現金同等物の期首残高	13,098	12,507
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,077	12,769

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式情報

(2018年9月30日現在)

株式の状況

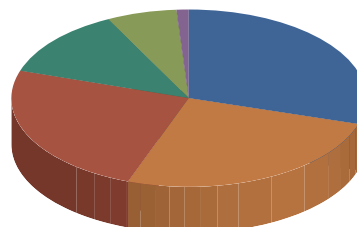
発行可能株式総数 150,000,000株
 発行済株式の総数 43,790,500株 (自己株式2,783,466株を含む。)
 株主数 4,917名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
新日鐵住金株式会社	3,101	7.6
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,981	7.3
株式会社三菱UFJ銀行	1,432	3.5
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/JANUS HENDERSON HORIZON FUND	1,101	2.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,061	2.6
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE NVIO 1	1,055	2.6
知多鋼業株式会社	1,029	2.5
株式会社メタルワン	976	2.4
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	936	2.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	932	2.3

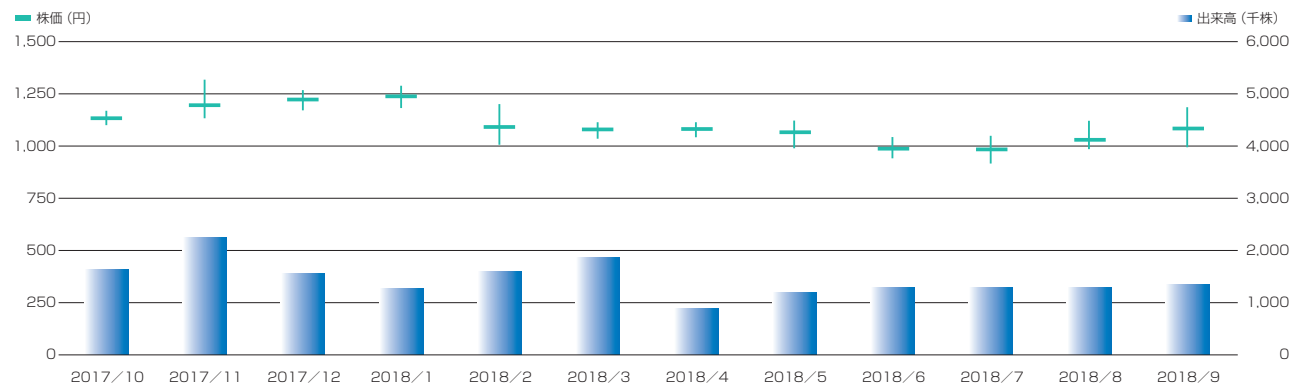
(注) 1. 当社は、自己株式2,783千株を保有しておりますが、上記株主からは除いております。
 2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
 3. 日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)および日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)の持株数は、信託業務に係るものであります。

所有者別株式分布状況



金融機関	13,035千株	29.8%
外国法人等	11,361千株	25.9%
その他法人	10,745千株	24.5%
個人・その他	5,380千株	12.3%
自己名義株式	2,783千株	6.4%
証券会社	484千株	1.1%
合計	43,790千株	100.0%

株価および出来高の推移



会社概要

(2018年9月30日現在)

商号	高周波熱錬株式会社 Neturen Co.,Ltd.
所在地	〒141-8639 東京都品川区東五反田二丁目17番1号 オーバルコート大崎マークウエスト
TEL	03-3443-5441 (代表)
FAX	03-3449-3969
設立	1946年5月15日(現社名)
資本金	6,418,359,752円
従業員数	連結 1,601名 単独 907名
役員	(代表取締役)取締役社長 溝口 茂 常務取締役 大宮 克己 常務取締役 村田 哲之 取締役 安川 知克 取締役 鈴木 孝元 取締役 一色 信元 取締役 三阪 佳孝 取締役 村井 暢宏 取締役(社外取締役) 寺浦 康子 取締役(社外取締役) 花井 嶺郎 監査役(常勤) 稲垣 均寛 監査役(社外監査役) 吉峯 寛 監査役(社外監査役) 中野 竹司

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日	定時株主総会	毎年3月31日
	期末配当	毎年3月31日
	中間配当	毎年9月30日

株主名簿管理人および 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

インターネット

ホームページURL <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告の方法 当社ホームページに掲載する。

<<http://www.k-neturen.co.jp/ir/kohkoku/kohkoku.html>>

上場金融商品取引所 東京証券取引所 (市場第1部)

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

－ 1 単元 (100株) 未満の株式をお持ちの株主様へ－

単元未満株式(100株未満の株式)をご所有の場合、その単元未満株式と併せて単元株式数(100株)となる数の株式について、当社に買増請求することができます。また、簡単なお手続きにより、ご所有の単元未満株式を買取請求することもできます。

なお、当社では、当社単元未満株式の買増・買取に関する手数料を無料としておりますので、ご案内申し上げます。

また、いずれのお手続きも、詳細につきましては、証券会社にて口座を開設している株主様につきましてはお取引の証券会社に、特別口座を開設の株主様につきましては当社特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社までお問い合わせください。



ホームページもご覧ください。

<http://www.k-neturen.co.jp>



このレポートは、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています

本レポートに関するお問い合わせ先

高周波熱錬株式会社 管理本部企画管理部
〒141-8639 東京都品川区東五反田二丁目17番1号
オーパルコート大崎マークウエスト
TEL 03-3443-5441(代表) / FAX 03-3449-3969